

三重農研成果情報 < 普及成果 >

すぐに普及に移せる成果

1. 腎臓透析患者向け「低リン米みえのゆめ」の商品デビュー

リンの摂取制限が必要な腎臓透析患者を対象として、リン含有率を通常の米に比べて4割以上削減した米を商品化しました。開発した特許出願技術を活用しているため、市販の低リン米に比べて、安価で美味しいお米となっています。

2. 県内産堆肥を活用した混合堆肥複合肥料の特徴

家畜ふん堆肥に含まれる肥料成分を有効活用した混合堆肥複合肥料は、化成肥料と同様に利用でき、化成肥料に比べて土壌中の微生物の多様性が高まります。

3. 飼料用稲 - 麦類二毛作のための省力化作業体系

飼料用の稲と麦の二毛作は、食料用の稲作との作業競合などにより、収穫量が低いことが課題でしたが、これを解決する省力化作業体系を開発しました。

4. 液化炭酸ガス気化方式を用いたCO₂局所施用による増収効果

植物工場のような大型施設において、収穫量を高める液化炭酸ガスの施用方法を開発しました。

5. 無加温施設栽培で年末から収穫可能な高品質カンキツ「みえ紀南5号」

加温を必要としない施設栽培で、12月下旬から2月上旬に収穫できる高品質な中晩生カンキツである新品種「みえ紀南5号」を育成しました。

6. カンキツ樹におけるシカによる樹皮食害防止と樹皮再生促進法

シカによるカンキツ樹皮の食害は、樹を枯らせることがあり大きな問題となっています。これを回避するための食害対策技術と食害を受けた際の樹皮の再生方法を開発しました。

7. 青ネギの葉色及び日持ち性が低下する要因

県内で生産される青ネギ栽培において、葉色が薄く、日持ち性が悪くなる要因について、現地調査の結果から明らかにしました。対策技術については、継続検討中です。

8. 障がい者が取り組むゴマの経営モデル

障がい者が円滑に農作業に取り組んでもらうためのポイントを整理し、これまでなかった経営モデルを作成しました。

9. 三重の中山間地にある水稲で水田全体が不稔となった現象はクモヘリカメムシの加害が原因でした

原因が未確定であった県内の中山間地域の水田で多発した稲が実らない現象は、クモヘリカメムシの吸汁による加害が原因であることを再現試験により確認しました。

10. 「結びの神」安定生産のための栽培マニュアル

県産ブランド米「結びの神」は、水稲新品種「三重23号」を一定の基準で栽培し、収穫した米の品質にも基準を設けています。この「結びの神」を安定生産するための栽培マニュアルを作成しました。

11. ホームユースに向けた白系サツキの育成

三重県育成サツキ品種「伊勢路紅」の子孫から、八重咲きの白系サツキを育成しました。

12. 国産紅茶の品質を高めるための加工技術

三重県産紅茶の高品質化のために、紅茶製造技術を開発しました。

13. 水稲「コシヒカリ」の種子生産に対応した肥効調節型肥料

水稲種子の生産は、一般の食用とは異なる厳密な栽培方法が行われていますが、省力化を目的とした「コシヒカリ」の種子生産に利用できる専用肥料を選定しました。

三重農研成果情報 < 研究成果 >

基礎・基盤的成果

1. ミナミアオカメムシは三重県の農業地域のほとんどで越冬でき、定着する可能性がある

温暖化に伴い、水稲や大豆の害虫であるミナミアオカメムシは、三重県内でも温暖な南勢地域から徐々に分布が拡大してきました。平成26年には、北勢地域でも定着が確認されたことから、今後、県内のほとんどの農業地域で定着する可能性があります。

2. イネごま葉枯病抵抗性の高精度評価法

水稲「みえのゆめ」を中心に発生が見られるイネごま葉枯れ病について、抵抗性品種開発の基礎となる高精度評価法を開発しました。

3. 高ビタミンK含有モロヘイヤの栽培方法

ビタミンKは、骨の健康維持に役立つ成分で、緑色の野菜や納豆に多く含まれており、モロヘイヤは特に多く含む野菜のひとつです。このモロヘイヤのビタミンK含有量をさらに高める技術を開発しました。

4. 低リン葉菜類の水耕栽培条件

増加する腎臓病患者の食事については、野菜等についてもリン含有量が低いものが求められています。そこで、葉菜類について、水耕栽培でリン含有量を低下させる技術を開発しました。

5. イチゴ炭疽病の発病菌密度と定植直前の葉かき処理による発病助長

炭疽病は、イチゴを栽培するうえで重要な病気ですが、「かおり野」と「章姫」について、土壌中の菌密度や苗を定植する際に行う「葉かき作業」との関連を明らかにしました。

6. 香気成分解析によるイチゴ「かおり野」の香りの評価

三重県が育成したイチゴ品種「かおり野」は、炭疽病抵抗性と極早生性を持つ良食味の品種ですが、特有の爽やかな甘い香りを持っています。この特徴的な香りの成分を明らかにしました。

詳細な情報は、三重県農業研究所ホームページにあります。

<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm>